

環境調査結果のお知らせ

令和6年6月18日12時から野見湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なケラチウム属が最高で61 cells/mL確認されませんでした。このプランクトンは、100 cells/mLを超えると養殖魚の餌食いが悪化させる恐れがあります。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度	水温	塩分	溶存酸素	ケラチウム 属	珪藻
	(m)	(°C)		(mg/L)		
A ガラク (6.2m) 【12:44】	0	24.5	29.8	7.2	0	380
	2	24.3	31.5	7.1	1	320
	5	23.9	32.5	7.1	0	100
	10	23.5	33.1	7.0	7	220
	底層 15	22.6	33.9	6.9	-	-
B 勢井 (5.3m) 【12:56】	0	25.0	31.7	7.2	10	360
	2	24.6	32.2	6.6	0	180
	5	24.1	32.6	7.0	0	160
	10	23.2	33.3	7.1	61	60
	底層 19	22.5	33.8	6.3	-	-
C 馬の背 (5.5m) 【13:04】	0	24.8	30.9	7.3	1	360
	2	24.5	31.6	7.3	0	720
	5	24.1	32.5	7.0	17	30
	10	23.4	33.2	6.8	5	40
	底層 22	22.5	33.9	6.9	-	-
D 大室戸 (5m) 【12:34】	0	24.6	31.3	6.9	1	70
	2	24.5	31.9	7.2	3	100
	5	24.1	32.5	6.9	1	80
	10	23.4	33.3	6.5	4	60
	底層 19	22.2	34.0	7.1	-	-
E 湾奥ブイ (4.6m) 【12:24】	0	24.5	30.4	6.9	0	40
	2	24.5	32.0	7.2	0	60
	5	24.3	32.4	7.0	0	20
	10	23.1	33.5	6.8	0	100
	底層 16	22.6	33.9	6.6	-	-



- A: ガラク
- B: 勢井
- C: 馬の背
- D: 大室戸
- E: 湾奥ブイ